

## 令和 2 年度第 1 回 松戸市子ども・子育て会議録

1. 日時 ※意見等徴収期間	令和 3 年 3 月 17 日 (水) 令和 3 年 3 月 8 日 (月) ～令和 3 年 3 月 17 日 (水)
2. 場所	新型コロナウイルス感染症予防の観点から書面開催
3. 出席者 (意見票提出者)	<委員> (50 音順) 20 名 阿部委員、天田委員、石垣委員、石田委員、荻野委員、神谷委員、久川委員、小松委員、坂委員、坂野委員、佐藤委員、千石委員、知久委員、寺田委員、奈賀委員、西郡委員、百田委員、文入委員、松本委員、宮下委員
4. 傍聴者	—
5. 次第	1 保育の利用定員について 2 第 2 期松戸市子どもの未来応援プラン (松戸市子どもの貧困対策計画) の策定状況について 3 第 2 期松戸市子ども総合計画の進捗管理について
6. 配布資料	[資料 1-1]特定教育・保育施設の利用定員等について [資料 1-2]地域型保育事業の利用定員等について [資料 2] 第 2 期松戸市子どもの未来応援プラン (案) の概要について [資料 3-1]第 2 期松戸市子ども総合計画の進捗管理について [資料 3-2]第 2 期松戸市子ども総合計画重点事業進捗評価管理表の様式案 [資料 3-3]第 2 期松戸市子ども・子育て支援事業計画進捗管理表の様式案 [参考資料 1]日経 D U A L 共働き子育てしやすい街ランキング 2020 について [参考資料 2]子ども・子育て施策における新型コロナウイルス感染症対策の主な取り組みについて [参考資料 3]令和 3 年度子ども部新規・拡大事業について [参考資料 4]『支援者向け 早期相談支援マップ』配布のご案内 [参考資料 5]松戸市ライフサポートファイルのご案内 (保護者向け) ・意見票 ・松戸市子ども・子育て会議オンライン開催に係るアンケート
7. 会議の成立	開催通知および会議資料等送付後、総委員数 21 名中 20 名から意見票の提出があったため、会議は成立しました。

### **<議事及び審議結果>**

各委員の意見及び行政側の回答については、資料「令和 2 年度第 1 回松戸市子ども・子育て会議における意見票及び回答」をご覧ください。

#### **1 保育の利用定員について**

保育の利用定員についてご審議いただきました。

- 審議方法：委員に対し、書面により審議事項を通知し、回答を依頼。
- 審議結果：意見票の提出 8 名、審議内容について承認する。

#### **2 第 2 期松戸市子どもの未来応援プラン（松戸市子どもの貧困対策計画）の策定状況について**

説明資料にて策定状況の報告をしました。

- 意見票の提出：10 名

#### **3 第 2 期松戸市子ども総合計画の進捗について**

説明資料にて第 2 期松戸市子ども総合計画の進捗管理について説明し、第 2 期松戸市子ども総合計画重点事業進捗評価管理表及び第 2 期松戸市子ども・子育て支援事業計画進捗管理表について、形式を提示しました。

- 意見票の提出：13 名

#### **4 参考資料 1～5 について**

- 意見票の提出：11 名

No.	委員名	提出日	議題1	議題2	議題3	参考資料1～5について
1	久川 洋子	R3.3.12	意見なし	意見なし	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要とする）
					資料3-3 p.2～3を見ると、R6年度までに幼稚園利用者が約半減し、それに伴って保育所の利用者が増加する見込みとなっていますが、現存する幼稚園は廃園としていくのか、こども園へ移行してくのが気になります。また、幼稚園には幼稚園にしかない良さがあり、「幼稚園に通わせたい。」と考える保護者も一定数いますので、保育所ばかりに手厚い支援施策がなされていくことに懸念があります。資料3-2でも、「施策1-2乳幼児の教育・保育環境を充実させる」において幼稚園に言及されている項目は1つだけなので、幼稚園ユーザーが軽視されているのではないかと不安になりました。しかも、延長保育を整備するという事は、働くお母さんにしか焦点が当てられておらず、子育てに専念したい家庭が幼稚園に通わせるメリットを最大限に享受できるような支援も考えていくべきなのかなと思いました。保育園へのニーズが高いことは十分承知していますが、マイノリティとなっていくであろう幼稚園ユーザーの心理やニーズを掘り取る事も忘れて頂きたいと思います。	ライフサポートファイルの配布は既に始まっているのでしょうか？ 配布が開始されているとしたら、どこで手に入れられるのでしょうか？ 子供を3人育てていますが、これまで一度も目にしたことはありません。必要な方に行きわたっているのか心配です。
2	松本 真輔	R3.3.15	意見あり（回答を必要としない）	意見なし	意見なし	意見あり（回答を必要としない）
			小規模の後、3～6歳児の行き先がなく、困ることが予測されます。3～5歳児も行ける保育園を増やした方がよいと思います。			新型コロナウイルス感染症に対する支援（給付金など）については、ほとんどの家族（子供）が何かしらの損害をこうむっております。したがって支援は子供全員に平等にした方がよいと思います。
3	奈賀 綾子	R3.3.15	意見あり	意見あり	意見あり	意見あり
			公立保育所の0歳児の受け入れが▲21になったのは地域型保育事務所での受け入れが可能となったからでしょうか？	第4章 具体的な取組の5 (15) ②医療費の負担軽減はとても良い取組だと思います。加えてインフルエンザ等予防接種（無料でないもの）の助成もあればなお良いと思います。	幼稚園の預かり保育について 保育室、教師共に余裕のある園は少ないと思います。子どもたちを安全に預かるための様々な整備が必要だと感じています。	○「支援者向け、早期相談支援マップ」とても良いと思います。 ○共働き子育てしやすい街ランキング1位は素晴らしいと思いますが、共働き世帯だけではなく「(誰もが)子育てしやすい街」目指すべきだと思います。
4	知久 隆	R3.3.14	意見なし	意見なし	意見なし	意見なし
5	千石 秀幸	R3.3.9	意見なし	意見なし	意見なし	意見なし
6	天田 由紀子	R3.3.15	意見なし	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要としない）
				江戸川区が実施している食の支援事業（別添1）食事支援ボランティア派遣事業「～できたて食べてね～おうち食堂」（HP参照）このような支援は今後の計画にありますか？→子ども食堂をやっている方からの質問です。	資料3-1最終ページの3つの基本目標1子ども力 子どもの権利（マスクをしなくてもいい権利）が尊重され心豊かに育つことができる→小学校、中学校、幼稚園等において、現場ではマスクの着用が義務化されています。教育委員会に問い合わせたところ、何かの事情によりマスク着用していない生徒に対してのガイドラインを10月に変更したので大丈夫との回答でしたが、現場では苦しくてマスクから鼻を出したら先生から注意をうけています。別添2.3でマスクの子どもたちへの有害性をご理解いただけたと思います。健康な子どもたちが希望するのであれば、ノーマスクでいいということを明記した文書をすべての家庭へ配布することを希望します。（別添4 富山市教育委員会資料等）	とてもきめ細やかな支援や配慮が松戸市では行われています。心から感謝しています。マスクの件もそうですが、現場に周知されていない、すばらしいことがありすぎてもったいないというのが正直な一市民としての思いです。子どもたちが表情豊かに情緒豊かに育ってくれる松戸市であるためにも今後ともよろしく願います。
7	石垣 洋子	R3.3.16	意見なし	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要としない）
				子育てにおける家庭の役割を学ぶ機会を提供する（第4章、3・学びを応援）とありますが家庭の子育て力が向上する為の支援の方向性として具体的なイメージがつかめないのですが、いつ・どの年齢に応じて、どんな内容なののでしょうか。PTAでする家庭教育学級のようなものなののでしょうか。	産後ケア事業（施策4-2.77）目標項目の欄で、産後ケア事業の利用人数を増やします。と共に利用しやすい方法も考慮して頂けたらいいと思います。	1.ひとり親世帯へ緊急支援給付金を支給について 支給内容で第1子、第2子、第3子以降と給付額が決まっていますが、第2子以降20,000円でも良かったのではないかと思います。

No.	委員名	提出日	議題1	議題2	議題3	参考資料1～5について
8	萩野 正美	R3.3.18	意見あり	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要としない）
			知人や職場の子育て世代、これから子育てをする世代の話聞く機会があり、「松戸は子育てしやすい」という意見を聞きました。保育所も充実していて素晴らしいと思います。	①・資料2第4章4-10 保護者の職業生活の安定向上を支援する ・参考資料3(1)医療的ケア児保育支援事業補助金 について 障害があることもいることで預ける場所や時間などの理由で父親か母親が仕事をやめるケースがあります。合わせて充実をお願いします。	②資料3-2施策6-1 117について 児童発達支援事業所で通園している子ども、スタッフと中高生の関わりは今後考えられますか？	③・資料2第4章4-10 保護者の職業生活の安定向上を支援する ・参考資料3(1)医療的ケア児保育支援事業補助金 について コロナの去年の緊急事態の時（学校も休み）保護者が仕事を休めない家庭の子どもが居場所をなくし道路で数人集まっているのを見かけました。子どもの居場所作りは大切だと感じました。
9	文入 加代子	R3.3.17	意見（質問）あり（回答を必要とする）	意見なし	意見（質問）あり（回答を必要としない）	意見なし
			資料1-1.2・公立保育所（定員変更）の中で松ヶ丘、新松戸南部、牧の原に於いて、定員変更が、各々変更前6・6・9とあり、変更後が、0・0・0と減っていますがその理由を教えてください。		3-2・事業No.58・・・支援内容と実績などを知りたい。（また、参加者の感想なども知る機会がほしい）	
10	佐藤 慎一郎	R3.3.17	意見あり	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要とする）
			資料を拝見して、改めて松戸市の保育環境整備のすごさを実感しました。市民としてとても心強く感じました。一方で多岐にわたる施設が多数存在している中で、各施設に対する「保育の質」を一定レベルに保ち続けることの管理が大変になってくることを心配してしまいました。市の管理体制について現状と課題を確認できればと思います。（資料3-2 施策1-2-10に関連）	市民の側として、基本施策に大きな抜け落ちは見当たりませんでした。施策の方向性ならびに具体化につながる場所として親側に心理的、肉体的、金銭的余裕がないと疲れ切ってしまうので、親も自己否定感を保てることを配慮しながら施策を進めていければと思います。	進捗管理全般について、コロナ禍の状況についてどう捉えているかもしくはどう捉えたかについての考え方やスタンスがあればお聞かせいただくとありがたいです。（※評価が困難なことも承知でおたずねしました・・・）	コロナ対策についても様々な取り組みを展開されていることに日経DUAL全国1位な状況もふまえ、とても心強く頼もしく思いました。コロナ対策ですが、周辺自治体の取り組みと比較してどの程度なのかで無理のない範囲でお聞かせいただきたいと思います。
11	坂 栄一	R3.3.19	意見なし	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要とする）	意見なし
				回答（議題2）を参照	回答（議題3）を参照	
12	寺田 美子	R3.3.17	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要とする）	無回答
			・新松戸地区の新設が4園69名増となりましたが、既存園と合わせ何園（何名）になったのでしょうか ・例として本園おひさまルームはR3年4月は7名からスタートとなります。（定員まで少し余裕があります） ・他施設での定員割れの状況はどうでしょうか ・年少人口の割合が減少している松戸市で更に小規模保育を増設する予定はあるのでしょうか。	松戸市の中で、様々な立場の方が同じ方向をむいていこうとすることを感じています。幼稚園の立場からできることは何か、連合会などで共有し考えたいと思います。	(3-2)を見ると保育施設・幼稚園・小学校の保護者が就労している方についての項目が多く掲げられて充実していると思います。「教育の質」の項目や「全ての子ども」「親の就労など一部に特化するのではない」にも目を向け、項目として掲げることも必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。	
13	石田 尚美	R3.3.17	意見なし	意見なし	意見なし	意見なし
			小規模保育施設が増えることで、1、2歳児の保育園が確保されることはとてもありがたいと思います。 また、3歳児からの受け入れとして、3か所の保育所が3歳児を増員したことは大きい。 これだけの小規模保育施設が増えると3歳児の受け入れが一番懸念されます。 うまく幼稚園につながればいいとは思いますが、なかなか難しいと感じています。 集団になじみにくい子どもも増えています。小規模保育園の次の受け入れ先との連携は今後とても大事になるように思います。	子どもの貧困対策計画策定が努力義務になったとしても引き続き、生まれ育った環境に左右されることなく、すべての子どもたちが、夢と希望をもって自分らしく成長できるまちを目指す施策をしっかりと考えてもらいたいです。	子ども子育て支援はとても充実してきたと感じています。民間も行政も一緒に研修を受ける機会をたくさん作り、質の向上にも力を入れてほしいと思います。 保育者だけでなく、幼稚園やおよこDE広場、放課後児童クラブなど、子ども、子育て支援の人材育成にもより一層力を入れてほしいです。 また、子ども子育て会議の回数も増やし、計画の進捗管理や評価もしっかりお願いしたいところです。子ども子育て支援はとても充実してきたと感じています。	「子育てしやすい街ランキング2020」において、松戸市が全国1位になったことはとても素晴らしいことです。 ただ、共働きというところが気になります。 もちろん、今は共働きの人が増えている中、こういった評価はとても大事ですが全国から注目されている分、どの家庭においても子育てしやすい街を目指してほしいと思います。 新型コロナウイルス感染対策についても迅速に取り組んでいただいで感謝です。「支援者向け 早期相談支援マップ」について子育てコーディネーターの相談でも、発達に心配のある保護者の相談は年々増えています。 私たちとしては、この早期相談支援マップをうまく活用し、横のつながり、ネットワークの強化をお願いしたいです。 年齢があがるにつれて、どこに相談に行ったらいいかわからないという保護者の方は多いです。 もっと、ライフサポートファイルを活用してほしいと思います。今どのくらいの方が活用しているのでしょうか。 子育てコーディネーターや保健福祉センターなどで配布することは難しいのでしょうか。 身近な場所に相談にはきたものの、結局市までいかなければいけないとなるとハードルが高いような気がします。 ご検討お願いいたします。

No.	委員名	提出日	議題1	議題2	議題3	参考資料1～5について
14	百田 清美	R3.3.17	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要とする）	意見あり（回答を必要としない）
			資料1-1 公立保育所の定員変更について。R3年度、3所の0歳児定員が「0」になるようですが、中期的な計画や目的についても記載があると委員の理解が深まると思います。過去の会議でご説明があったこととは思いますが、議案書につど目的を記載することが重要かと思えます。 私は「数年をかけて0-2歳の定員を0とし、小規模保育園の卒園児の受け皿とする」と理解していますが、もし誤りがあるようであればご教示ください。	1. 改定の視点の中で特に①切れ目のない支援、④多様な主体との連携、について、行政の継続的かつ中心的なコーディネイトを期待します。クラブ事業で申し上げますと、所管の子育て支援課に相談・報告することで、子ども家庭相談課はじめ学校や制度ボランティアさんとの調整をしていただける現状は、時間的な負担が減ることで非常に動きやすく、さらにスーパービジョン的な機能も働いているように感じます。 2. 今後増員が予定されているスクールソーシャルワーカーの働きに期待しつつ、役割りの整理や明示が必要と思えます 3. 専門性が要求される取組みであり、児童委員さんや個別に活動している団体との連携にあたっては、個人情報の取り扱いや、支援の各場面（アセスメントや計画、実施、評価）でのチェック機能が必要と考えます	資料3-3について。以前もご提案させていただきましたが、クラブの（か所数）に加えて（単位数）を明示することをご検討ください。そもそも単位の明示なく、（拡大するか所数）の意味するところは理解できないではありませんか。明示しない理由があるのでしたら理解に努めますので、ご説明をお願いします。	コロナ感染症対策に対しては、クラブ事業につきましてもまつど手当をはじめ非常に様々かつ大きな支援をしていただきましたこと、感謝申し上げますと共に、みなさまにもぜひお知らせしたいと思います。 クラブ事業は、コロナ禍において通常午後からの運営を拡大し、3月から6月中旬の間、8時から19時まで開設しました。働く職員については常勤は一部で非常勤が人数の過半以上を占める法人がほとんどです。こうした特性からくる脆弱さをどうにか克服できたのは、子育て支援課の物心両面にわたる支援と教育委員会・学校のご協力のたまものです。 とはいうものの、次に一斉休校等がなされた場合は同様の対応ができるとは限りません。次を想定し、各機関と連携したコミュニケーションをぜひ、行政のコーディネートによって実施いただきたいと思います
15	西郡 泰樹	R3.3.19	意見なし	意見あり（回答を必要としない）	意見あり（回答を必要としない）	意見なし
				教育委員会では、「2030年に向けた指針「学びの松戸モデル」」を策定しています。子ども部との情報共有がどこまでできているかはわかりませんが、松戸市で子どもを育てていくという観点で、連携は必要なのではないのでしょうか。	どうしても縦わりの担当課での対応と行政の立場からにはなってしまうのですが、子育ては総合的な視野に立って行われるべきであり、課よりもっと大きな枠組みで取組まないとその間をうめるものがなくて、困るケースがでてくると思われる。	
16	宮下 宏幸	R3.3.24	空欄	空欄	意見なし	意見なし
17	坂野 喜隆	R3.3.25	意見なし	意見なし	意見なし	意見なし
18	神谷 明宏	R3.3.31	後日提出	後日提出	意見あり	意見あり（回答を必要とする）
					そもそも委員が議論しながら1つ1つの計画を役所と協働で作りに上げてゆく事が重要なのであって、送りつけられた資料に意見をもらいそれをどうするのかという方向性も示さず進められるのはいかがなものかという思いがある。（以下に続く！）	コロナ禍にあっても、あの人数であれば議場等を使用すればいくらかでも会議は開催可能だし、もし不安で欠席する委員から事前に意見をいただくことで対面の会議はできるはずである。コロナ禍を理由にこの様な形で意見を求める事自体に怠慢さを感じてしまう。もう少し工夫を！！
19	小松 世幸	R3.4.5	意見なし	意見なし	意見なし	意見あり（回答を必要としない）
						参考資料2「子ども・子育て施策における新型コロナウイルス感染症対策の主な取り組みについて」の8.松戸市子ども応援事業の「図書カード」の配布について、使える場所が限られるのでは。別の物ではどうか。Ex）QUOカード等

回答（議題1）

委員名	議題1	回答所属
文入 加代子	<p>意見（質問）あり（回答を必要とする）</p> <p>資料1-1.2・公立保育所（定員変更）の中で松ヶ丘、新松戸南部、牧の原に於いて、定員変更が、各々変更前6・6・9とあり、変更後が、0・0・0と減っていますがその理由を教えてください。</p>	<p>保育課</p> <p>松戸市の待機児童対策は、待機児童の約8割が0-2歳児であることから、小規模保育所の設置を中心に解消を図ってまいりました。同時に卒園後、三歳からの受入先として幼稚園預かり保育や、保育所・園での弾力化、必要最低限の保育施設の建設を行ってまいりました。</p> <p>子ども総合計画では、今後の保育需要は令和6年まで増えるとされており、三歳からの受入先が不足することが予想されるため、既存の公立保育所3施設を3年間かけて3-5歳に特化し、安定的な三歳児の受入先を確保することとしました。このことから、3保育所の0歳児定員が令和3年度は「0・0・0」となったものです。</p> <p>同時に小規模保育所との連携や、幼児教育に特化した保育などの実践も行い、松戸市全体の保育の質の向上に寄与する方法を検討しております。</p>
寺田 美子	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新松戸地区の新設が4園69名増となりましたが、既存園と合わせ何園（何名）になったのでしょうか</li> <li>・例として本園おひさまルームはR3年4月は7名からスタートとなります。（定員まで少し余裕があります）</li> <li>・他施設での定員割れの状況はどうでしょうか</li> </ul> <p>・年少人口の割合が減少している松戸市で更に小規模保育を増設する予定はあるのでしょうか。</p>	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新松戸地区は既存園と合わせ17園（306名）となっております。</li> <li>・R3年4月時点で新松戸地区にある小規模施設の平均的な入所率は約80%となっております。</li> <li>・小規模保育施設については、短期間で整備を行うことが可能であるため、新型コロナウイルスの感染拡大による需要の影響を見極めつつ、過不足のないよう整備を行ってまいります。</li> </ul>

回答（議題2）

委員名	議題2	回答所属
天田 由紀子	意見あり（回答を必要とする）	子どもの未来応援担当室
	江戸川区が実施している食の支援事業（別添1）食事支援ボランティア派遣事業「～できたて食べてね～おうち食堂」（HP参照）このような支援は今後の計画にありますか？→子ども食堂をやっている方からの質問です。	<p>情報提供をいただきありがとうございます。</p> <p>食事支援ボランティア派遣事業につきまして、市の事業としては、現在のところ実施の予定はございません。</p>
石垣 洋子	意見あり（回答を必要とする）	子どもの未来応援担当室
	子育てにおける家庭の役割を学ぶ機会を提供する（第4章、3・学びを応援）とありますが家庭の子育て力が向上する為の支援の方向性として具体的なイメージがつかめないのですが。いつ・どの年齢に応じて、どんな内容なのでしょうか。PTAとする家庭教育学級のようなものなのでしょうか。	<p>主な具体的な取組につきましては、乳児家庭全戸訪問時に絵本を配布するブックスタート事業、1～6歳の幼児のいる家庭に松戸市版幼児教育パンフレットの配布、0～6歳の未就学児の保護者向けに研修や講座を実施する親力向上セミナーなどの取組を学びの応援の施策体系にひもづけ整理しています。また、石垣委員のご質問にもありますとおり、小中学生の保護者向けの家庭教育学級もひもづけており、このような取組を通して各年代の学びを充実させてまいりたいと考えております。</p>

回答（議題2）

委員名	議題2	回答所属
坂 栄一	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>別シート「坂委員議題2」を参照</p> <p>&lt;資料2&gt; 第4章 具体的な取組</p> <p>社会全体で応援 … 項番(1)の② 子どもを応援する市民活動等を支援する</p> <p>社会全体で応援 … 項番(2)の② 学校・地域・行政等が連携した地域作りを推進する</p> <p>市内各所の子ども会は、組織的な問題で新年度毎に役員が改選され、新しい育成者の方々が、役員となるケースが多くどうしても自分達の地域の状況しか分からないのが実情です。そのため、新任者の子ども会組織では「継続が可能」な子ども会と「継続が危ぶまれる」子ども会があり、子ども会組織としてバラツキがあります。特に継続が危ぶまれる子ども会に対し、補助・支援などできる方々や団体を活用できればと考えております。上記：②市民活動の支援。②連携した地域作り。の観点から、具体的な内容についてご教示をお願いします。</p> <p>学びを応援 … 項番(6) 学校内外において体験活動の機会を提供する</p> <p>上記項目の具体的な内容をご教示ください。子ども会活動の基本は、「遊び」を通じた体験活動です。子ども達が、遊びを通じて 人と関わり・体験を積み重ねることにより、「社会を生き抜く力」として必要な基礎能力を養い、社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心・主体性・協調性・チャレンジ精神・責任感・創造力・異なる他者と協働する能力等を育む活動です。</p> <p>上記：項番(6)と子ども会の関わりについてご教示をお願い致します。</p>	<p>子どもわかもの課</p> <p>子ども会を補助・支援できる団体として、青少年相談員連絡協議会やイベントや講座を実施しております青少年会館、博物館、21世紀の森と広場管理事務所等を活用いただき、子ども会育成者が企画、講師等を行う負担の軽減につなげていただきたく存じます。</p> <p>学校内外における体験活動の機会の提供につきましては、学習の中で学ぶことのできない体験活動（キャンプ大会、異年齢の団体でのスポーツ及び文化活動等）を通じて、「遊び」を通じた「学び」の機会を目的に記載させていただいております。</p>

回答（議題2）

委員名	議題2	回答所属
阿部真美子	意見あり（回答を必要とする）	子どもの未来応援担当室
	「松戸市子どもの貧困対策計画」が見やすい形で記述されている資料のナンバーをお教え下さい。	<p>今回お配りした資料の中では、「資料2」で第2期計画の概要を示しております。第1期計画については、計画書のほか、概要版を作成しております。ホームページ</p> <p>「<a href="https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodate/navi/matsudokosodateshien/sesakukaigi/mirai_oen/plansakutei.html">https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodate/navi/matsudokosodateshien/sesakukaigi/mirai_oen/plansakutei.html</a>」をご参照ください。</p>

回答（議題3）

委員名	議題3	回答所属
天田 由紀子	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>資料3-1最終ページの3つの基本目標「子ども力 子どもの権利（マスクをしなくてもいい権利）が尊重され心豊かに育つことができる→小学校、中学校、幼稚園等において、現場ではマスクの着用が義務化されています。教育委員会に問い合わせたところ、何かの事情によりマスク着用していない生徒に対してのガイドラインを10月に変更したので大丈夫との回答でしたが、現場では苦しくてマスクから鼻を出したら先生から注意をうけています。別添2.3でマスクの子どもたちへの有害性をご理解いただけたと思います。健康な子どもたちが希望するのであれば、ノーマスクでいいということを明記した文書をすべての家庭へ配布することを希望します。（別添4 富山市教育委員会資料等）</p>	<p>子ども政策課</p> <p>情報提供をいただきありがとうございます。天田委員のおっしゃる通り、子どもの権利は尊重されるべきものと考えております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行は続いており、感染症対策をしながらの日常生活が余儀なくされております。</p> <p>松戸市教育委員会が定めた『学校における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン』では、基本的な感染拡大防止として、マスク着用、咳エチケットの指導を徹底するとされておりますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・換気ができ、身体的距離が十分確保できている場合は、マスクを着用しなくてもよい。ただし会話を伴う場合はマスクを着用する。（登下校時も同様とする。）</li> <li>・体育時は、マスク着用を必要としない。</li> <li>・指導者および見学者はマスク着用とする。ただし、教師自身が身体へのリスクを感じる際は、これに限らない。また、見学者は日陰に入る等、熱中症予防の対策をとる。</li> </ul> <p>など、状況によってはマスクを着用しなくてもよいこととなっております。松戸市では、現在まん延防止等重点措置が適用になっており、感染者数もなかなか減らない状況です。原則ガイドラインに沿いながら、各学校の実態に応じた学校教育活動における感染拡大防止の取組みをしていくものと考えます。</p>
萩野 正美	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>②資料3-2施策6-1 117について、児童発達支援事業所で通園していることも、スタッフと中高生の関わりは今後考えられますか？</p>	<p>子どもわかもの課</p> <p>障がいのある乳幼児や乳幼児を育児中の障がいのある親が、乳幼児のふれあい体験へ参加いただくことは可能です。</p> <p>また、児童発達支援事業所にて「乳幼児とのふれあい体験事業」実施の可否につきまして、要望がある場合はご検討させていただき存じます。</p>

回答（議題3）

委員名	議題3	回答所属
佐藤 慎一郎	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>進捗管理全般について、コロナ禍の状況についてどう捉えているかもしくはどう捉えたかについての考え方やスタンスがあればお聞かせいただけるとありがたいです。（※評価が困難なことも承知でおたずねしました・・・）</p>	<p>子ども政策課</p> <p>今後令和2年度の事業実績等からコロナ禍の状況を調査・分析していくこととなりますが、例えば、コロナ禍で在宅ワークやリモートワークの増加による保育需要の変化や、各種イベント等の体験がオンラインに変更になるなど、様々な変化が考えられます。これらの状況は、令和4年度に予定している中間年の見直しの際に、参考にしていきたいと考えております。また、今回のような災害下にあっては、ひとり親家庭や子どもなど弱い立場にある方が影響を受けやすいと認識しておりますので、より困っている方に支援の手を差し伸べられるよう取り組んでまいります。</p>
坂 栄一	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>&lt;資料3-2&gt; 基本施策2 施策2-2 項番29：こどもの遊び場の活用 遊び場の減少等の課題に対応し、今後の在り方（仕組み作り）について上記項目の具体的な内容をご教示ください。</p> <p>市内各所の子どもの遊び場が減少し、子ども会活動に支障をきたす報告があります。千葉大学との共同研究の状況(進捗)や方向性等、ご教示をお願い致します。</p>	<p>子どもわかもの課</p> <p>こどもの遊び場は公園が少なかったところに子どもたちが外で遊べる場所の補完を目的に設置した経緯もございます。今後も、市内こどもの遊び場は公園数の増加及び地権者様の返還要望に伴い、減少する可能性は考えられる状況です。返還が生じた際は、利用団体や地元町会へ代替地の提案を行わせていただいた実績もございます。</p> <p>また、千葉大学との共同研究事業の状況につきましては、市内1カ所のこどもの遊び場にてモデル事業を実施中となっております。令和2年度は新しい生活様式に対応した外遊びができる体制づくりの研究を実施いたしました。</p> <p>今後は地域の方や子どもに関わるNPO法人等と連携を図り、こどもの遊び場の在り方について、研究してまいりたいと存じます。</p>

回答（議題3）

委員名	議題3	回答所属
寺田 美子	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>（3-2）を見ると保育施設・幼稚園・小学校の保護者が就労している方についての項目が多く掲げられて充実していると思います。「教育の質」の項目や「全ての子ども」「親の就労など一部に特化するのではない」にも目を向け、項目として掲げることも必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>子ども政策課</p> <p>資料3-2「第2期松戸市子ども総合計画 重点事業進捗管理表の様式案」については、計画に記載した事業について進捗管理をしていくものです。寺田委員の視点「『教育の質』の項目や『全ての子ども』『親の就労など一部に特化するのではない』に関しましては、次期計画策定の際に、参考とさせていただきます。</p>
百田 清美	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>資料3-3について。以前もご提案させていただきましたが、クラブの（か所数）に加えて（単位数）を明示することをご検討ください。そもそも単位の明示なく、（拡大するか所数）の意味するところは理解できないではありませんか。明示しない理由があるのでしたら理解に努めますので、ご説明をお願いします。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>松戸市子ども総合計画においては、現在第2期を迎え、進捗管理を行う段階にあり、単位数の追加をこの時期に行うべきではないと考えます。</p> <p>なお、単位数と「拡大するか所数」とはほぼ同義語であり、「拡大するか所数」は、計画上の利用人数と施設面積から必要な面積を割り出し、追加（拡大）を要する「か所」を算出しております。</p>

回答（参考資料1～5）

委員名	参考資料1～5について	回答所属
久川 洋子	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>ライフサポートファイルの配布は既に始まっているのでしょうか？ 配布が開始されているとしたら、どこで手に入れられるのでしょうか？ 子供を3人育てていますが、これまで一度も目にしたことがありません。必要な方に行きわたっているのか心配です。</p>	<p>障害福祉課</p> <p><b>配布開始時期</b>は平成30年10月より開始しました。</p> <p><b>配布場所</b>は、障害福祉課、こども発達センター相談診療部門、教育研究所、基幹相談支援センターにて配布しています。（ホームページからダウンロード可能）</p> <p><b>配布対象者</b>は支援が必要な障害児（0～18歳未満）及び、発達の気になる児童（障害の有無に関わらず）になっています。</p>
佐藤 慎一郎	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>コロナ対策についても様々な取り組みを展開されていることに日経DUAL全国1位な状況もふまえ、とても心強く頼もしく思いました。コロナ対策ですが、周辺自治体の取り組みと比較してどの程度なのかで無理のない範囲でお聞かせいただきたいと思います。</p>	<p>子ども政策課</p> <p>近隣市でも、様々な施策が展開されておりますが、松戸市独自のものとしては、主に以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 託児機能付きコワーキングスペースの開設</li> <li>・ 松戸市子ども応援事業（図書カードの配付）</li> <li>・ 私立幼稚園休園時預かり保育就業応援金</li> <li>・ 子ども食堂に対する緊急応援金</li> </ul> <p>（近隣市＝船橋市、浦安市、市川市、柏市、流山市、鎌ヶ谷市、我孫子市、野田市と比較）</p>
神谷 明宏	<p>意見あり（回答を必要とする）</p> <p>そもそも委員が議論しながら1つ1つの計画を役所と協働で作り上げてゆく事が重要なのであって、送りつけられた資料に意見をもらいそれをどうするのかという方向性も示さず進められるのはいかがなものかという思いがある。コロナ禍にあっても、あの人数であれば議場等を使用すればいくらでも会議は開催可能だし、もし不安で欠席する委員から事前に意見をいただくことで対面の会議はできるはずである。コロナ禍を理由にこの様な形で意見を求める事自体に怠慢さを感じてしまう。もう少し工夫を！！</p>	<p>子ども政策課</p> <p>会議の開催方法が書面開催という形になったことについては、緊急事態宣言が発令されていた中で、総合的に判断した結果となりますのでご理解いただきたく存じます。</p> <p>今回みなさまにご協力いただいたアンケート結果をもとに、オンラインも取り入れ、皆様が安心して会議にご参加いただけるように検討してまいります。</p>